

令和3年度（5月） 第2回浜北区協議会 次第

日時：令和3年5月27日（木）午後1時30分から

会場：浜北区役所 大会議室（なゆた・浜北3階）

1 開 会

2 議 事

(1) 協議事項

ア 令和2年度浜北区地域力向上事業（助成事業）の事後評価について（6件）

【資料1】

イ 令和3年度浜北区地域力向上事業（助成事業）の提案について（1件）

【資料2】※当日配布

3 その他

(1) その他

(2) 次回開催日程について

4 閉 会

区 分	<input type="checkbox"/> 諮問事項 <input checked="" type="checkbox"/> 協議事項 <input type="checkbox"/> 報告事項				
件 名	令和 2 年度地域力向上事業（助成事業）の事後評価について				
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	<p>【趣旨】 地域力向上事業実施要綱第 10 条に基づき、浜北区役所で令和 2 年度に実施した地域力向上事業について、浜北区協議会で評価を行う。</p> <div style="border: 1px dotted black; padding: 5px;"> <p>地域力向上事業実施要綱 (事後評価) 第 10 条 市長は、実施した助成事業が終了したときは、 区行政推進会議及び区協議会で評価を行う。</p> </div>				
対象の区協議会	浜北区協議会				
内 容	<p>令和 2 年度に採択した事業は 6 件（内 1 件は事業中止）</p> <p>※詳細は別紙のとおり</p>				
備 考 (答申・協議結果を得たい 時期、今後の予定など)	事業実施内容、評価結果等はホームページで公表する。				
担当課	浜北区・区振興課	担当者	大林 克彦	電話	5 8 5 - 1 1 4 1

必要に応じて、記入枠の拡大や資料等の添付をしてください。

令和2年度地域力向上事業 事後評価
★助成事業

番号	事業名	提案者	目的	事業内容	総事業費 (単位:千円)	市執行額 (単位:千円)	事後評価				
							評価項目			評価コメント	
							浜北区らしさ	事業目的の達成度	財政支援の必要性		費用対効果
1	三遠南信名物自慢「はまきた駅前なゆた朝市」 (3回目)	はまきた駅前なゆた朝市	浜北地区の特産品を見直し、また浜北地区以外の特産品を発見し活かすことにより浜北ならではの産業の活性化に繋げる。また、定期的開催することで、浜北駅前周辺の活性化をねらう。	三遠南信の農産品、水産物、工芸品、郷土加工品等の販売を、毎月2回、第2、第4火曜日を基本として午前9時から午後3時まで開催した。また、11月、12月、1月にイベントを実施した。 【期間】4月1日(水)～3月31日(水) ※第2,4火曜日 【場所】なゆた・浜北	611	225	B	A	B	B	毎月第2、第4火曜日に実施した。イベントでは、アルバイトによるチラシ配布や、新聞折り込みによる宣伝により毎回約200人の集客があった。定期的に開催することで、固定客も増え浜北駅前の活性化に繋がった。補助事業としては、令和2年度で終了となるが、令和3年度も事業を継続している。今後も自立した駅前活性化事業として実施していただきたい。
2	浜北副都心にぎわいづくり協議会赤ちゃんフォトコンテスト (3回目)	浜北副都心にぎわいづくり協議会少子化対策部会	浜北地区は、毎年900人前後の出生者数があったが、平成31年の出生者数は734人と大きく減少した。浜北地区の人口は増加傾向にあるものの、出生者数がこのまま減少していくことは望ましい状況ではない。 出生者数を増やすためには、子育て世代の人口を増やす必要がある。そのため、浜北地区は赤ちゃんが多く、子育てがしやすい地域と広く認知してもらい、定住・出産・子育てを促進する。	少子化対策のための赤ちゃんフォト募集ポスターやチラシで広くPRを行い、応募写真をプレ葉ウォーク浜北で公開し市民も一次審査に参加して3,598票の投票があった。表彰式は、新型コロナウイルス感染症の対策を行う中で市長も出席した。応募全作品等を掲載した、少子化対策冊子を2,500部作成し表彰式等で配布した。 【表彰式】10月18日(日) 【場所】プレ葉ウォーク浜北 【来場者】約200人 フォト応募数 244点	363	130	A	A	B	A	昨年を40点上回る244点の応募があり、関心の高さが伺えた。新型コロナウイルス感染症対策を実施する中で、浜松市長を迎えて表彰式を開催した。冊子2,500部(A4フルカラー32頁)応募全作品掲載、医療従事者や大学生等の寄稿を掲載)を表彰式で配布し少子化問題のPRを行った。 令和3年度も事業を継続して実施する見込みであるが、コンテストの継続や活性化に向けて、運営方法の検討や協力者の掘り起こしを期待する。
3	親子支援事業 ※事業中止のため採択回数には含めない (2回目)	プレイリバー	社会では今、子育てがうまくいかず、悩みや不安を抱えたまま育児をしている母親や、言葉や社会性等の発達に課題がある子どもが増えている。 浜北地区に於いては、子育て世代の転入者が多いが、困った時に周囲に頼る所が無く、不安や孤独を感じながら暮らしている保護者が多いと考えている。 当団体スタッフは、保育士を25年以上経験している。また、浜北地区在住の専門技術を持っている講師も招きプログラムに沿った親子支援活動を展開していく。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策により、事業を中止した。 【予定していた内容】 令和2年4月から令和3年3月までの期間で全7回、浜北区・天竜区に住み、子育てに悩みや不安がある保護者と発達に課題や心配がある子どもを対象に、親子運動遊び、子育て相談、母親交流などを行う。	0	0					講座開催の中で、密になりやすいなど、参加親子の新型コロナウイルス感染リスクの不安が排除できなかったため中止を判断された。

番号	事業名	提案者	目的	事業内容	総事業費 (単位:千円)	市執行額 (単位:千円)	事後評価				
							評価項目		評価コメント		
							浜北区らしさ	事業目的の達成度	財政支援の必要性	費用対効果	
4	浜北スローエアロビックプロジェクト (1回目)	浜北スローエアロビックプロジェクト	<p>浜松市は、平成31年2月には「70歳現役都市・浜松」の宣言をしており、高齢者が健康的に暮らす先進的な都市である。</p> <p>日本エアロビック連盟では、高齢者向けの新たなトレーニングメニューとしてスローエアロビックの普及に努めており、活動場所となるスポーツ施設が豊富にある浜北区におけるモデル事業を実施することで、この成功例をもって市内、県内、全国へと普及していきたいと考えている。</p> <p>本事業を通じて、健康寿命の延伸のためのメニュー開拓とともに、不足する指導者の養成並びに、スポーツ施設をはじめとする公共施設の平日昼間の稼働率の向上にもつなげていきたい。</p>	<p>浜松市エアロビック連盟による、スローエアロビック教室を区内3カ所で平日午前を実施した。</p> <p>4月からの開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、本格的な稼働は9月からとなった。</p> <p>【開催場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンアリーナ (毎週火曜日 午前) ・浜北体育館 (毎週木曜日 午前) ・浜北武道館 (毎週金曜日 午前) <p>【参加者数】</p> <p>延べ304人 ※1回500円×4回 (月2,000円) 定員 20名</p>	1,572	785	B	B	B	B	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、事業開始が大幅に遅れることになったが、チラシ配布などにより会員の取得に努めていた。</p> <p>また、Youtubeチャンネルを開設しオンラインにて動画配信を行うなど状況に合わせた工夫が見られた。</p> <p>(2月から毎週水曜日に動画をアップし各100回程度の再生回数であった。)</p> <p>令和3年度事業では、教室とオンラインのハイブリッドで取り組むことになっているが、多くの区民に興味をもっていただき、スローエアロビックの普及に努めてほしい。また、事業が自主的に継続されるように指導者育成についても継続して取り組んでいただきたい。</p>
5	バイクの集いonWEB (1回目)	バイクの集いin浜北実行委員会	<p>浜北はバイク生産の地であったことから、このことを全国に発信するとともに、浜北区まで来ていただくイベントとして開催し、これによりまちの賑わいを創出することを目的に始めた。10年目となる今回は、従来の浜北の地での集合型から、より多くの方が参加できるように工夫し、広域的に浜北区の情報発信が可能なWEBを活用した方式として取り組んでいく。</p>	<p>自慢のバイク写真等をWEBで募集した。応募のあった写真等をホームページで公開した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の対策を行い、優秀作品等を紹介するイベントを開催した。</p> <p>【開催日】 11月1日(日) ※実施期間は9月1日(火)～11月29日(日)</p> <p>【開催場所】 プレ葉ウォーク浜北内プレ葉コート</p> <p>【公開ページ】 http://benri-i.com/bik2020.htm</p> <p>【参加者数】</p> <p>スタッフ15名、参加者30名、WEB視聴者約300名</p>	367	180	A	B	B	B	<p>今回から初めてWEBでの開催となったが、各新聞にて報道されたことで、問い合わせが数多く寄せられ、イベントの認知、さらには浜北がバイクの生産の地であることが広く発信できている。</p> <p>今回課題となった会場の設営や当日の運営を来年度以降活かし、従来の来場者数をWEB視聴にて獲得できることを期待したい。</p>
6	エンジョイ 万葉の森公園 (1回目)	万葉の森公園「伎倍の茶屋」	<p>万葉集には浜北ゆかりの歌が四首あり、また植物を詠んだ歌も数多く登場し、みどりのまち浜北と万葉集には深い繋がりがある。万葉植物、万葉文化に親しむことのできる「万葉の森公園」の一層の活性化を進め、地域の特色の発信や万葉文化の継承を図る。</p>	<p>「万葉の森公園」において、万葉文化に親しみ、万葉文化を体験する講座や、誰もが気軽に楽しめるイベントを開催した。</p> <p>【講座】年11回開催、延べ132人参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めて作る人の短歌教室 ・初めて学ぶ万葉集 ・「そめ」であそぼう ※染め講座 ・まこもで作品作り <p>【イベント】年2回開催、延べ125人参加</p> <p>屋外コンサート</p>	103	51	A	A	B	A	<p>万葉の森公園を会場に、多くの市民に気軽に万葉文学、万葉植物、万葉文化などに触れることのできる機会を提供することで、万葉集に興味関心を持ってもらい、万葉文化の普及や万葉の森公園のPRに貢献した。</p>

区 分	<input type="checkbox"/> 諮問事項 <input checked="" type="checkbox"/> 協議事項 <input type="checkbox"/> 報告事項				
件 名	令和3年度浜北区地域力向上事業の提案について				
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	<p>【趣旨】 地域力向上事業実施要綱第8条に基づき、浜北区役所に提案された地域力向上事業・助成事業の採択に当たって、浜北区協議会に意見を求める。</p> <div style="border: 1px dotted black; padding: 5px;"> <p>地域力向上事業実施要綱 (実施予定事業の決定) 第8条 市長は、助成事業の採択に当たっては、区協議会に意見を求め、その意見を踏まえて実施予定助成事業を決定し、提案団体には選考結果通知書により通知するものとする。</p> </div>				
対象の区協議会	浜北区協議会				
内 容	<p>令和3年度の地域力向上事業・助成事業は、令和3年1月から募集を開始した(4月から二次募集中)。今回は4月に提出された提案について、区行政推進会議で審議したものを提出する。</p> <p>提案 1件 採択 0件 不採択 1件</p> <p>※詳細は別紙のとおり</p>				
備 考 (答申・協議結果を得たい 時期、今後の予定など)	市長は、浜北区協議会の意見を踏まえて、地域力向上事業・助成事業を決定する。				
担当課	浜北区・区振興課	担当者	大林 克彦	電話	585-1141

必要に応じて、記入枠の拡大や資料等の添付をしてください。

令和3年度地域力向上事業提案内容

(単位:円)

■助成事業

予算額	既申請額	今回補助額	残額
3,000,000	790,000	-	2,210,000

No.	提案事業名	提案者	事業の目的・効果	提案内容	概算事業費(円)	予算内容(金額:円)	補助金額(希望額)(円)	継続事業	行政推進会議検討結果
3	そよそよの家	そよそよの家	<p>不登校の親子の居場所作り</p> <p>令和元年度の全国の小中学生の不登校児童数は約18万人、保健室登校など不登校傾向を合わせると約3倍、10人に1人と言われている。浜北区内の子でも「学校に行きたくなくて困っている」「学校に行っていない」という話はよく聞く。</p> <p>浜松市では学校に思うように通えない子どもの学習権を保证するための居場所作りとして、教育支援センター(旧適応指導教室)を市内8カ所(区内1カ所)で実施している。</p> <p>しかし、自分にあった居場所を見つけた親子は大丈夫で、一番辛いのは、それ以前の段階の親子であり、それがほとんどだと考えている。</p> <p>この事業は、居場所を見つける前の段階の親子をサポートする新たな居場所をつくり、悩みを抱える親子の繋がる場所を作ることを目的とする。</p> <p>(外を怖いと感じている子に、外は怖くないということを感じてもらい、自分を知り、自分で居場所を見つけられる土台づくりの場所となる。)</p>	<p>区内の空家を活用し、不登校の子どもや、悩みを抱える親子の居場所を作る。</p> <p>【オープン日】 毎週水、木、金と第2,4土曜日</p> <p>【対象】小学生～高校生と保護者 ※チラシを区内小中学校や協働センターで配布予定</p> <p>【定員】 20名程度</p> <p>【参加費】 月額500円程度の会員制 ※その月の初回1回は無料</p> <p>【内容】 ・料理、外遊び、畑、勉強、音楽、芸術活動等好きに過ごせる環境を用意する。</p> <p>・自治会に加入し、草刈り等にも参加する。</p> <p>・親に対しての講習会や座談会を開催する。</p>	380,460	<p>主なものは次のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師謝礼 (50,000) ・光熱水費 (81,000) ・チラシ (3,590) ・消耗品 (20,000) ・燃料費 (2,800) ・インターネット (60,000) ・汲み取り (50,000) ・保険代 (14,270) ・原材料費 (98,800) <p>・補助金 (190,000)</p> <p>・月謝 (100,000)</p> <p>・自己資金 (90,460)</p>	190,000	<p>【不採択】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童に対する支援の必要性は十分理解できるが、近接地に市が行う同様事業(かやの木教室)が存在すること、行政施策や公的機関との連携が薄いこと、利用者の目的が立っていないことに加え、市全域に係る課題であり区の地域力向上事業にはそぐわないと考える。 ・本件は、対象児の親にとっては深刻な問題であることは理解できるが、提案者を含め、一部の親子が利益を受ける内容となっているため、公益性の面と浜北らしきの面において、地域力向上の助成事業としては、ポイントが低くなる。 ・「浜松市地域力向上事業実施要綱」では、事業の趣旨を「区の特性を活かした事業や課題を解決する」と規定している。 提案事業計画は、その目的、内容は不登校となっている子どもとその家族にとって、意義ある事業とは考えられるものの、①参加予定者は必ずしも区内や市内の住民を対象としていないこと、②実施場所(浜北区於呂)を選定した理由として、「浜北区に適当な空き家があったから。」としていることを踏まえると、地域力向上事業の趣旨に適合すると判断するのは難しい。 今後、浜北区で実施する特段の事由や浜北区固有の人材を活用する等、趣旨に沿った事業として整理できるのであれば、年度を改めるなどして提案いただくことを期待する。 <p>担当課:-</p>	